

かけがえのない命を

守るためにげきまわろう

浜分中学校

交通事故は、私たちの身の回りでも起きており、とても身近な問題です。時には大けがにつながることも、大切な生命が奪われることもあります。生徒たちが未然に防ぐ意識を、自主的に持ち、判断して行動できるということが、かけがえのない命を守ることに繋がります。

そのための活動として、北斗市内一斉に、「旗の波運動」を行いました。子どもたちが、「全員着用シートベルト」や「飲酒運転絶対ダメ！」などの事故防止を促す、プラカードを持ち、全員で呼びかけました。



プラカードでアピールする生徒達



一列に並ぶ生徒達

浜分小学校の児童と浜分中学校の生徒が歩道に並ぶと、相当の迫力がありました。運転者の、その迫力に驚いていた様子や、笑顔で反応している様子などが印象的でした。生徒たちも、反応してくれて、うれしかったのか、プラカードをより一層、高く上げたり、揺らしたりしてアピールする方法を工夫していました。地域や保護者の方々にも見守られながら、安全かつ楽しく活動することができ、生徒たちは、「交通事故を無くすために何ができるか」を一人一人が考えることができたと思います。

一日防災学校

11月5日(土)に、一日防災学校という取り組みを行いました。

「災害の仕組みや、災害から身を守るために何が必要なのか」を、理科の授業や、消防士の方の講演を通して、考えることができました。講演では、東日本大震災から得た教訓を踏まえて、具体的な避難方法や命を守るための鉄則を確認することができました。

また、災害に「備える」ことの必要性や日々の細かな意識・行動を考え直す、とても重要な時間になることができました。



震災に関する講演の様子

津波を想定した避難訓練

一日防災学校として、午後には、津波を想定した避難訓練を行いました。

今回の避難訓練は、浜分小学校と連携し、それぞれの避難経路で避難をしまし、地震が発生し、一度、外へ避難した後、再度、学校の中へ避難するといった複雑なものでしたが、子どもたちは、緊張感を持ち、迅速かつ正確な避難を行うことができました。



避難訓練の様子



(浜分中学校 教諭 山崎 蓮太)